

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	岩田 誠
内山真一郎	臺 弘
大友 英一	梶 龍兒
金澤 一郎	高坂 新一
酒田 英夫	作田 学
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	塚田 裕三
辻 省次	寺本 明
中里 洋一	中込 忠好
中野 今治	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 將	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

いわゆる運動の類いには無縁の生活を送ってきた私だが、最近ただ1つ、のめり込んでしまったスポーツがある。それはロードバイクという自転車でのサイクリングだ。実際にオホーツク沿岸212kmのロングライドに参加したところ、実に楽しくて、つらいと思うところがまったくなかったのである。このように、どんな苦勞も楽しく思えてしまえるような心の持ち方は、研究などの仕事に共通して必要な精神力なのかもしれない。サイクリングのお陰で、生まれて初めてスポーツという自己鍛錬の喜びを知ったのだから、我ながら人は変われば変わるものである。

ヨーロッパでサッカーに次ぐ人気のスポーツといえば、自転車のロードレースであろう。中でも、3週間におよぶツール・ド・フランスは、名実ともに世界最高峰のイベントであり、今年で99回目を迎えた。日本人ではただ1人、新城幸也選手が3度目のツール完走を果たし、その力走ぶりは特に印象的であった。自転車のロードレースでは、各チーム中の1人のエースを勝たせるために残りのメンバーが献身的にアシストする。そして、他チームで起きたパンクやメカトラブルに乗じて勝ちに行くのは紳士協定に反する、といった暗黙の美学もあって面白い。

科学研究の世界もロードレースに似て、常にアタックをかけ続けながら「先端」を目指す人は一握りであり、他の大多数はフォロワーとなる。せめて同じチーム内では献身的なアシストがあって欲しいものだが、孤軍奮闘となる場合も珍しくはない。一方、学問の世界では50代を過ぎても現役選手を続けなくてはならず、引退して後進の指導に専念することはあまり期待されないのである。その意味では、学問のほうスポーツ以上に長期間の体力と精神力を維持しなくてはならず、過酷なロングライドだとも言えよう。

今月号の特集「高次脳機能イメージングの脳科学への新展開」では、この分野のいわばトップ・アスリートの方々に執筆をお願いした。イメージング研究では、今なお日進月歩の「道具」の開発と利用が不可欠であり、「昔取った杵柄」だけで仕事が続けられるとは限らない。常に新しい技術を身につけ、それを磨き、そして新たな問題設定のもとに適用しながら、神経科学上の難問を解決していくことが求められている。今年はfMRIが誕生してから20年という節目の年である。そういえば、私も大学院を修了してから20年が経ち、研究室の自転車操業に努めてきたのであった。

(酒井邦嘉)

BRAIN and NERVE (第64巻 第9号)

2012年9月1日(毎月1回1日発行)

定価2,835円〔本体2,700円＋税5% (配送料実費)〕

2012年 年間購読料(税込み、配送料弊社負担)

冊子版35,670円、冊子＋電子版 個人40,670円／共有46,100円、

電子版 個人35,670円／共有41,100円

販売部直通電話 (03)3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2012. Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。